

情報連絡員報告総括表（令和5年1月分）

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況						
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化				
製 造 業	食料品	2	1	1	1	3		1	3		1	3		1	1	2		3	1		3	1	2	2		1	1	2				
	繊維工業		1	2		2	1	2	1			3				3		3			3			1	2		2	1				
	木材・木製品			1		1				1			1			1		1				1		1				1				
	紙・紙加工品		1	1		2		2			1		1			2		2				2		2				2				
	印刷		1			1		1				1				1		1			1			1			1					
	化学・ゴム																															
	窯業・土石製品		1	2		3		1	2			2	1		1	2		3			3			3			2	1				
	鉄鋼・金属			1			1		1			1				1		1				1		1				1				
	一般機器	1	1	1	1	2		3				3			1	2		2	1		2	1		1	2		2	1				
	電気機器		1			1			1			1				1			1			1		1				1				
	輸送機器	1					1		1			1				1		1		1				1		1						
その他																																
	小計	4	7	9	2	15	3	10	9	1	2	15	3	1	3	16		17	3	1	12	7	2	14	4	2	8	10				
非 製 造 業	卸売業		2			2		2				2			1	1		2		X					2			1	1			
	小売業	1	3	2		4	2	3	3			2	4		3	3		4	2						6			4	2			
	商店街			1			1	1					1			1			1							1			1			
	サービス業	1	3	1	X	X	X		5			5			3	2		4	1						4	1		3	2			
	建設業		2	2					1	2	1		1	3		2	2		2		2					3	1		2	2		
	運輸業		1									1			1			1				1						1			1	
	その他		1									1			1			1				1						1			1	
	小計	2	12	6		6	3	7	12	1		12	8		11	9		14	6					17	3		12	8				
	合計	6	19	15	2	21	6	17	21	2	2	27	11	1	14	25		31	9	1	12	7	2	31	7	2	20	18				

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和4年1月～令和5年1月)

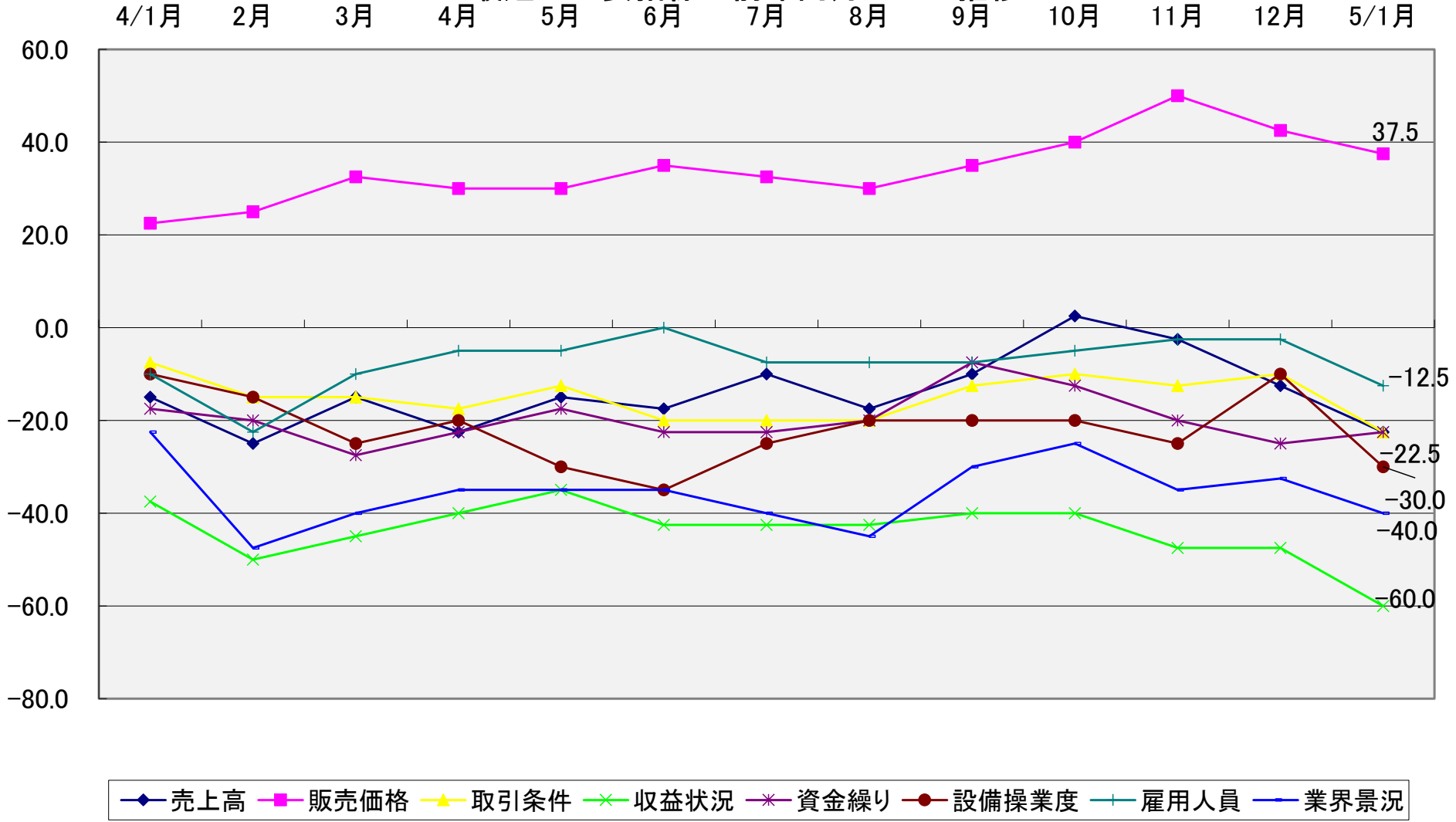
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	4/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5/1月	増減
売上高	-15.0	-25.0	-15.0	-22.5	-15.0	-17.5	-10.0	-17.5	-10.0	2.5	-2.5	-12.5	-22.5	-10.0
販売価格	22.5	25.0	32.5	30.0	30.0	35.0	32.5	30.0	35.0	40.0	50.0	42.5	37.5	-5.0
取引条件	-7.5	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	-20.0	-20.0	-20.0	-12.5	-10.0	-12.5	-10.0	-22.5	-12.5
収益状況	-37.5	-50.0	-45.0	-40.0	-35.0	-42.5	-42.5	-42.5	-40.0	-40.0	-47.5	-47.5	-60.0	-12.5
資金繰り	-17.5	-20.0	-27.5	-22.5	-17.5	-22.5	-22.5	-20.0	-7.5	-12.5	-20.0	-25.0	-22.5	2.5
設備操業度	-10.0	-15.0	-25.0	-20.0	-30.0	-35.0	-25.0	-20.0	-20.0	-20.0	-25.0	-10.0	-30.0	-20.0
雇用人員	-10.0	-22.5	-10.0	-5.0	-5.0	0.0	-7.5	-7.5	-7.5	-5.0	-2.5	-2.5	-12.5	-10.0
業界景況	-22.5	-47.5	-40.0	-35.0	-35.0	-35.0	-40.0	-45.0	-30.0	-25.0	-35.0	-32.5	-40.0	-7.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和5年1月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いている。今年は8月に雨が多く、葉菜類を中心に初期生育が遅れていたが、その後の天候により順調に生育しており、例年並みの収穫が得られ、ほぼ例年並みの漬け込みが行われている。また、販売状況においてもコロナウイルス規制の緩和による、旅行者の増加などにより、お土産物の需要がかなり回復してきた。一方でウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、製造コストに影響が出ている。「2023漬物グランプリ」が4月27日～29日まで、東京ビッグサイトで開催される。現在2月28日までの応募依頼がきており、県内からも数社が応募を予定している。
		醤油味噌	年末年始の繁忙期を過ぎ、全体的に生産・販売は落ち着いてきている。経済環境は依然として厳しい状況が続いている。大手の値上げが予定されているが、中小事業者はなかなか追随できない。原材料は高止まりの状態でコスト高の状況は変わらない。組合として昨年、国の輸出補助事業として認定された展示会に2月に出席予定であるので、現在その準備中である。
		製麺	今月に入り、三重県産小麦を使用した商品開発に取り組んでいる。12月～1月にかけて、春、夏向けの新商品のサンプルを10品目程作り、商品を持ち寄って試食会を行った。これを「ラーメン産業展」及び「組合まつり」に出展して、消費者に試食してもらい、アンケートを取った。こうした皆さんの情熱ある取り組みを見て、コロナに負けないと感じた。
	繊維工業	組紐	材料費等の経費の上昇に販売価格の上昇率が追いつかず、利益、収益が悪化している。
	木材・木製品	木材	ウッドショック、ウクライナショック、円安の影響は薄れつつあり、年明け以降、前月比、前年同月比とも弱含み傾向である。
		木材チップ	販売価格は上昇したが、原材料価格が高止まりしているため、原料の確保が課題となっている。
	紙・紙加工品	古紙	1月の仕入量：段ボール・約94±3%、新聞、チラシ・約84±7%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約92±5%であった。ボーナス期は終わり、10月からの商品等の値上げや大雪の影響もあり、古紙の発生は大きく減少し危機感が募っている。国内の政令指定都市等の観光地におけるインバウンドはあるものの、地方都市は限定的な効果が数字にあらわれていないように思える。政府からの4～5%物価上昇分の給与の増額は、その通りに実行すれば中小零細企業の経営者に大きな金銭・精神的負担となりそうである。消費者への金銭額負担増の箱や新聞・雑誌の値上げは更に消費を減らし、会社経営における人件費や商品、エネルギー等の負担が重くのしかかる。4月以降の賃金アップが出来たととして、消費者の安心感が消費活動につながる事を望んでいる。また、古紙持ち去り行為撲滅の法制化も是非ともお願いしたい。万引きは窃盗で法律があっても軽犯罪の万引きはなくなり、法律や罰則がない古紙持ち去り行為禁止措置は不可能のように思う。ゴミ置き場や資源回収容器内への不法投棄物を自費で処分することも金銭と精神的負担が非常に大きく、その行為は安易にしたとしても悪質と思える。
	印刷	印刷	年度末の繁忙期に向かい全体の需要は増えるが、行政関係等の入札は未だに資材の高騰分を転嫁すると落札できない物件が多い。
	窯業・土石製品	伊賀焼	組合としては個人のお客様の購買が減っている。しかし、各組合員は問屋、飲食店からの注文が増えている。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産額は12月とほぼ同様で、自動車関連部品は減少傾向が続いている。建築関連部品及びガス関連部品は横ばいの状態であった。また、半導体関連は予想どおり若干の減少傾向にはあるものの、以前から続いている半導体不足は一時的なものであり、数ヶ月単位で増減するので、さほど問題視はされていない。原材料の高騰、エネルギー価格の高騰（ガス、重油、電力料）が続き、それによる収益の圧迫で経営面では厳しい状況が続いている。
一般機器	四日市	業績は下げ止まった感があるが、各企業により格差がある。半導体不足や紛争の長期化による仕入れ価格、電気代、燃料費の上昇や自動車関連が未だ低調なこと、コロナによる需要の停滞が理由である。	
	津市	売上高の増加については、材料価格の高騰を受けて売上単価が上昇したことであり、先月と同じく実質マイナスである。先月に比べて電気代がかなり上昇したが、この分は製品価格を値上げできず、収支を圧迫している。2年前と今年の電気代を比べると同じ使用量で年間300万円近く上がっているため、中小企業にとっては、死活問題ではないかと思う。	
	伊勢	年が明け、今までよりも悪くなった感じがする。モノの値上がりりと不足で困っている。半導体の不足は続き、設備関係の減少傾向も自動車生産の減少も続いている。仕入価格は上がっているが、ある程度の値上げを認めてもらっているため稼働できている。	
電気機器	鳥羽	受発注は、理事長企業においては一進一退であり、設備や人材確保の前で、段取りがうまくできない。他の組合員においては変動はない。	

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和5年1月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 業	輸送機器	鈴鹿	海外渡航の規制が緩和され、旧正月で久しぶりに長期間の休暇を取り一時帰国をする外国人技術者が多いことに加え、年度末に向けての増産体制が続いており、非常に繁忙である。人員不足であるが正規社員募集には全く応募はなく、派遣会社も人手不足で補充することができない中、賃上げを要求されており、物価の高騰とあわせて採算は悪化の一途である。
		青果	野菜前半：好天に恵まれ入荷が回復し、多くの品目で価格も落ち着いてきた。特に白菜、キャベツ、白ネギが安くなっている。また、年末に高値だった椎茸の入荷も順調になり、価格も安定してきた。トマト、ミニトマトは値上がりしている。 野菜後半：年明けの需要が落ち着き安くなっていたが、雪による出荷の減少や交通の乱れの影響で全体的に入荷が少なく、価格が高止まりしている。特に北海道産のじゃがいも、玉ねぎ等が不安定である。 果物前半：県内産のイチゴが順調に入荷し安くなっている。みかんは県内産、和歌山県産等が高くなっている。 果物後半：イチゴは県内産中心でみずみずしく、風味の良さが増して味も良く、今がお買い得である。みかんは県内産も終盤になり、高くなっている。りんごは、青森県産「サンフジ」が美味しい。県内産、和歌山県産の「デコポン」の入荷が増えてきた。
	小売業	自転車	今年も正月明けの7日～20日頃にかけて、通学用自転車の販売及び予約展示会を開催するショップが県内で数店舗あった。1台当たりの販売単価は原材料の高騰もあり、9～10万円程度となった。少子化と景気の悪さの影響もあって、例年の6～7割程度の予約となっている。昨年度程ではないが、今期も一部入荷の遅延が1月下旬より始まっており、ユーザーに早めの予約を呼びかけているところである。組合連合会の発表によるここに来て急激に専門店が減少し、店舗数は全国で毎年500～600店が廃業となっている。
		電器	コロナ関連で感染者数が増加している中でも旅関連のキャンペーン等の後押しもあり、人の流れは年末から続いているように思う。それに伴い、物価高であろうと経済の動きがあるように思われる。当業界でも省エネ家電キャンペーンが始まったおかげで、上位機種への購入度合いも順調に増えていると思う。ただ、仕入先であるメーカーからの卸値がどんどん上がっている事が先々の消費者の購入にどれくらい影響が与えられるかが不安材料である。
		石油	三重県石油商業組合は1月11日、海上自衛隊横須賀地方総監部（乾悦久総監）との間で災害時の燃料供給協定を締結した。地震災害や原子力災害などが発生、人命救助や生活支援のために同総監部の部隊が被災地に派遣された場合、三重県石油商業組合は指定された艦船に優先的に燃料を供給する。同総監部は三重県から岩手県までの太平洋海域を管轄し、同様の協定を宮城県、神奈川県との間でも締結している。
		スポーツ	寒い日が続く、屋外スポーツの動きはあまり良くないようである。ただ、ワールドカップでの日本選手の頑張りをメディアが取り上げてくれたこと、3月に開催のWB C野球大会の宣伝等で良いムードである。来月からは中学新入生のウエアー等の販売が始まる。
	商店街	熊野市	正月三が日の人出は、この地方でも帰省客や観光客等で昨年より比べ大いに賑わいをみせた。ただ、全国旅行支援が途切れた前半は人出の割には、客単価が伸びていないという話も聞いた。また、後半に商店街で開催されたさんま関連のイベントは、コロナ過前までの本来は「ふるまい」を中心に行われてきたものであったが、今回はガラガラ抽選で当たる形式に変更され行われ、やはり以前の人出のようにはならず、各店舗も売り上げが乏しかったようである。感染が蔓延している時期ではあったが、出店業者からは、早く感染症分類の5類引き下げを望む声が多く上がっていた。
	サービス業	旅館	年始は盛況であったが、11日より再開した「全国旅行支援」は割引率が下がったこともあって、稼働を押し上げるような力はなく、閑散とした日が続いていた。更なる需要喚起策が必要である。また、電気、燃料等の固定費の高騰と、様々な物価の値上がりも価格転嫁することも出来ず、苦しんでいる。1月全体では、対前年比120%、対2019年比では70～80%程度であった。
		警備	例年どおりで、年末年始の稼働減で売上高は昨年並みであった。
	建設業	総合工事業	【公共工事の受注状況】 令和5年1月の県内建設企業の請負金額は、対前年1月比4.4%減であった。令和4年4月～令和5年1月までの累計では5.9%の減であり、国発注工事では30.5%の大幅減となっており、県内建設企業の受注環境は依然として厳しい状況にある。 1月に成立した三重県の補正予算における公共事業予算規模は、対前年度比約80%であり、今年度の県内建設企業の受注高は前年度を下回る見込みである。
内装工事業		1月は大幅に前年同月比でマイナスとなってしまった。コロナの影響や材料費の高騰、物価高から景気動向が不安定で、年明けから最悪の流れである。	

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和5年1月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	水道工事業（亀山）	まだまだ、給湯器等の半導体を使用した製品については、入手困難なものがあり納期が不確定となり、お客様に迷惑をかけている。また、資材等についても価格上昇傾向が止まる見通しがつかない。引き続き、不透明な状態は依然として続きそうである。
運輸業	トラック	軽油価格は高止まりの状況が続いており、半数以上の事業者が運賃に転嫁できず厳しい経営下にある。電子デバイス部門については、世界的なインフレによる個人消費の落ち込みを背景としたパソコン、スマホ向けの半導体の需要減を受け、生産調整を行う等、減少傾向にあり関連する輸送についても減少傾向が続いている。トヨタ自動車の一部工場で稼働停止による影響が出たものの、ホンダ技研については通常稼働であったことから、輸送については特に大きな影響ではなかった。スーパー、小売については、2月からの食料品値上げによる買いだめ需要により輸送についても若干増加した。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	1月～2月にかけて、展示会に出展していることもあり、とても忙しい日々である。今後ともよろしく願います。
一般機器	四日市	コロナ対策に関して5類に分類するとの報道もあり、経済が上向ききざしとなることを期待されるが、光熱費がさらに値上がりするとの情報もある。今後の状況を注視しながら、きめ細やかな支援をお願いしたい。
	津市	原材料、資材の高騰については仕入業者からの値上げに伴うため、販売先に対して原材料及び資材に関連する値上げについては価格転嫁できるかもしれない。しかしながら、ここ数年においては光熱費が高騰しており、光熱費の上昇分については価格転嫁が困難であるため、中小企業等の全企業に対して補助額が電気使用量に応じた補助金を創設してもらいたい。
サービス業	旅館	(1)「三重県独自の旅行支援制度」の創設を要望する。例：「とよた宿割」 (2)「宿泊施設燃料高騰対策支援金」等宿泊業に特化した支援制度の創設を要望する。例：「奈良県宿泊施設光熱費等高騰対策支援金」